

技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名			期間		
6407	次世代技能者の技能レベル向上のための 指導法（建築大工編（R5改訂））			令和6年 1月11日(木)～ 1月12日(金)		
開催会場	職業能力開発総合大学校（東京都小平市）			定員	日数	
				50	2	
研修種別	技能・技術分野	建築設計・施工	技能・技術レベル	L2	技能・技術要素	大工作业（応用）
研修のねらい 及び 到達目標	<p>本研修では、これまでの技能五輪課題（建築大工職種）に含まれる技能要素を分類・整理・把握するとともに、近年の競技課題における展開図作成に高度な規矩術を要する部材の展開法、考え方を習得します。</p> <p>（到達目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> 技能五輪課題（建築大工職種）に含まれる技能要素を分類・整理・把握できる 高度な規矩術を要する部材の展開法、考え方について知っている 					
最低限 必要な知識	取り扱う課題の難易度が高いため、規矩術についての知識（一級技能検定と同等の知識）を有することが望ましい。					
研 修 内 容	項 目（予 定）			講義	実技・演習	
	1 これまでの技能五輪課題における技能要素の分類・整理 （1）技能五輪課題の概要 （2）平面形状、勾配、部材数などによる分類 （3）斜材（隅木、垂木、振れ垂木、破風など）の出題傾向				1 H	
	2 競技課題アンケート結果の報告 （1）得点分布、練習量など （2）難易度（現寸図、墨付け、部材加工）				2 H	
	3 難易度の高い部材の展開法 （1）展開図の作図1 （2）展開図の作図2 （3）展開図の作図3				6 H	
	4 技能五輪課題への取組事例報告 （1）取組事例報告1 （2）取組事例報告2 （3）取組事例報告3				2 H	
	5 習得度の確認 研修成果を訓練へ効果的に展開するためのディスカッション				1 H	
					12 H	
リニューアル の概要 及びアピール ポイント	展開図の作成から墨付けまでの一連の作業を通して、規矩術の理解を深めます。規矩術の「初学者」を対象としたコースです。最新の技能五輪課題を含んだ内容にリニューアルしています。					
研修成果が 活用できる 職務	職務1		職務2		職務の内容	
	建築施工		躯体工事		規矩術	
	建築施工		躯体工事		木造軸組	
担当教員 (ユニット)	前川 秀幸、塚崎 英世、佐畑 友哉（建築施工・構造評価（木造）ユニット）、外部講師					
使用する 機器等	プロジェクター、書画台、製図機器、さしがね、直定規、三角定規					
受講者が用意 するテキスト (予定)						